



MEDICAL FAIR INDIA 2017

ファイナルレポート

MEDICAL FAIR INDIA(ニューデリー)は急増するビジター参加のもと開催 新たな併催プログラムも好評

ビジターが急増した今回の MEDICAL FAIR INDIA（インド国際医療機器・器具・ホスピタルフェア）は、インド市場における先導的なメディカル見本市であることを明確に実証した。ニューデリーの Pragati Exhibition Center で 4 月 6 日から 8 日まで開催された同展には、メディカル産業分野から 13,480 人の意思決定者が来場し、会期中、最新の医療機器やサービスを出展する 519 の出展者ブースを視察し、商談を行った。



MEDICAL FAIR INDIA は奇数年ニューデリー開催、偶数年ムンバイ開催と、インド国内の主要都市で隔年開催されているが、今回の実績は、2016 年のムンバイ開催に比べて来場者数は 15%増、展示面積は 16%増と、それぞれ増加した。また、会場内も開催規模の拡大に伴って活況であった。

出展者からの満足度も概ね高く、特にビジターの数だけではなく、質の高さを好感する出展者もあった。日本からは(株)トップと(株)ハーメックが出展した。

新たな併催プログラムはハイライトとして MEDICAL FAIR INDIA の成功に貢献し、会期 3 日間を通じて多くのビジターの興味や関心を引き起こした。その一つが斬新なデジタル・ヘルス・プラットフォームである FTR4H Lab & Lounge（協賛：MEDICA）である。こちらはモバイル・ヘルスや IoT、スムーズなデータ処理など、メディカル分野におけるデジタル化に関する情報や、ベンチャー企業などからの製品アイデア、専門家によるディスカッション、そしてネットワーキングがテーマとなった。

ヘルス IT のインド市場は 25 億 US ドルと試算されており、ポテンシャルが高い分野と言える。遠隔医療などリモートによる技術は、地方エリアの医療をサポートするだけではなく、大都市の最先端のクリニック向けにもハイテクなインフラを提供することが可能である。

同じく併催プログラムの CLIN LAB INDIA は初開催であったが、今回の MEDICAL FAIR INDIA の不可欠なイベントとして好感された。ここでのコンファレンスと専門展示エリアでは、臨床現場即時検査（POCT）や分子診断、臨床化学など、検査、診断に関連するテー

マにフォーカスされた。ホール 9 での CLIN LAB INDIA 展示エリアでは、330 m²を使用し、Mindray、Randox、SMC Pneumatics など診断機器メーカーが出展した。

MEDICAL FAIR INDIA 2017 の対象製品カテゴリーは次となる：医療機器、医療製品全般、診断・検査機器、病院設備・備品、整形外科・リハビリ関連、ヘルス IT、及びモバイル・ヘルス・ソリューション。

MEDICAL FAIR INDIA の詳細につきましては以下の公式サイトをご参照ください。

<http://www.medicalfair-india.com>

次回 MEDICAL FAIR INDIA 会期：2018 年 3 月 16 日～18 日・ムンバイ。

その他、MEDICA 主催・共催のメディカル・フェア：<http://www.world-of-medica.com>

株メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：服部

〒104-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニガーデンコート 7F

Tel.03-5210-9951 Fax.03-5210-9959 / mdj@messe-dus.co.jp www.messe-dus.co.jp